

日本農業労災学会 Newsletter

●発行：日本農業労災学会事務局

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-10-10

パークビル3F キリン社会保険労務士事務所内

電話番号⇒03-5651-0407 FAX⇒03-5651-0408

E-mail：irikiin@kirin-office.com

ホームページ：<http://jfapr.jp>

日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会共催シンポジウムのご案内

- 1 開催日：2014年10月1日（水）10:30～17:00
 - 2 会場：東京農業大学・世田谷キャンパス・
農大アカデミアセンターB1F・横井講堂（東京都世田谷区桜丘1-1-1）
 - 3 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）
 - 4 後援団体：全国農協中央会・日本農業新聞
 - 5 シンポジウム・テーマ：
農業労災学の体系化・実証的解明の基本課題と農作業事故予防
のノウハウ・労災補償対策の革新方向
 - 6 参加費等・申込み手続き
 - 1) 参加費等
 - (1) シンポジウム及び交流会への参加費：5,000円
 - (2) シンポジウムのみ参加費：2,000円
 - (3) 交流会のみ参加費：3,000円
 - (4) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金：1,500円（送料込）
 - 2) 申込み手続き
 - (1) 申込期限と申込み先
シンポジウム参加等をご希望の方は、資料作成の準備がございまして、
9月18日（木）必着で同封の返信用ハガキの該当欄に○印をご記入の上、お送りください。
 - (2) 参加費等は、同封の郵便振替票の該当欄に○印を付けて金額をご記入の上、9月25日（木）までに振込みをお願い致します。
- *非会員の方でシンポ等にご関心のある実践現場の方々のご参加を大いに歓迎します。

7 東京農業大学世田谷キャンパスへの交通経路と大会会場のご案内

交通経路、大会会場は以下の 11、12 をご参照ください。問い合わせは、北田紀久雄シンポジウム実行委員長（東京農業大学総研研究会労災対策研究部会連絡幹事）宛（電話：03-5477-2359、E-mail：kitada@nodai.ac.jp）にお願いします。

8 テーマの趣旨・ねらい

座長 白石正彦（東京農業大学）

本学会創立の趣旨では、平成 23 年の労災加入者 1,000 人当たりの年間死傷者数は、農業 8.8 人、建設業 5.2 人、林業 27.7 人、製造業 2.7 人、全業種平均 2.1 人と、農林業の事故発生率が異常に高い点、この現状は農政面でも、地域農業の振興に努めている JA の営農対策上からも放置できない事態に立ち至っている点を強調している。

このような農作業事故の深刻な事態の克服のためには、第 1 に、農業労災学研究的の体系化（農業就業における国際的・国内的な安全で健康な管理システムの枠組み研究の深化）と実証的研究（Plan-Do-Check-Act のメカニズムの解明）が大きな課題である。第 2 に、高齢者に多発している農作業事故（農水省の調査では平成 24 年の農作業死亡事故 350 件のうち①年齢階層別では 65 歳以上層の死亡事故件数割合が 79.4%、②要因別では農業機械作業に係る死亡事故件数割合が 73.1%、③性別では男 86.3%）に注目した予防のノウハウと労災補償対策に関する農業政策や JA グループの営農指導体制、農業機械メーカー等の安全・予防対策の取り組みが大きな課題である。第 3 に、農業就業者の高齢化の一方で担い手の法人化・集落営農組織化・農外からの就農・農企業参入（雇用労働者がいる農業者等管理責任を有している経営体）の増大など農業構造が大きく変容する環境激変の下での多様な担い手に焦点を当てた労災事故・疾病を予防する内発的なモデル農業経営とモデル JA づくりが大きな課題であり、実践現場の多くの方々の積極的な参加を大いに期待している。

シンポジウムは、このような問題意識に基づき今年 4 月に創立した日本農業労災学会と東京農業大学総研研究会（就農者推進教育研究部会・労災対策研究部会・農協研究部会）が共催で、以下の要領で開催する。

テーマは「農業労災学の体系化・実証的解明の課題と農作業事故予防のノウハウ・労災補償対策の革新方向」とし、①農林水産省の松岡謙二生産資材対策室長、②本学会三廻部眞己会長、③門間敏幸東京農業大学教授、④臼井稔全国農協中央会営農企画課長、⑤宮永均秦野市農業協同組合参事がそれぞれ基調報告を行う。

以上の基調報告に対して①松岡公明農林漁業団体職員共済組合理事長が農業労災学の体系化・実証的解明の基本課題と行政・JA グループの農業労災予防・労災補償対策の革新方向について、②宮田正信東京農業大学総研就農者推進教育研究部会長が高齢化と多様な就農者の実態に焦点をあてた農業労災予防・労災補償対策の革新方向について、③瀬川徳子社会保険労務士法人たんぽぽ会代表から社会保険労務士の実務面の業務を通じて明らかにしている農業労災予防・労災補償対策の革新方向について、それぞれコメントを行う。

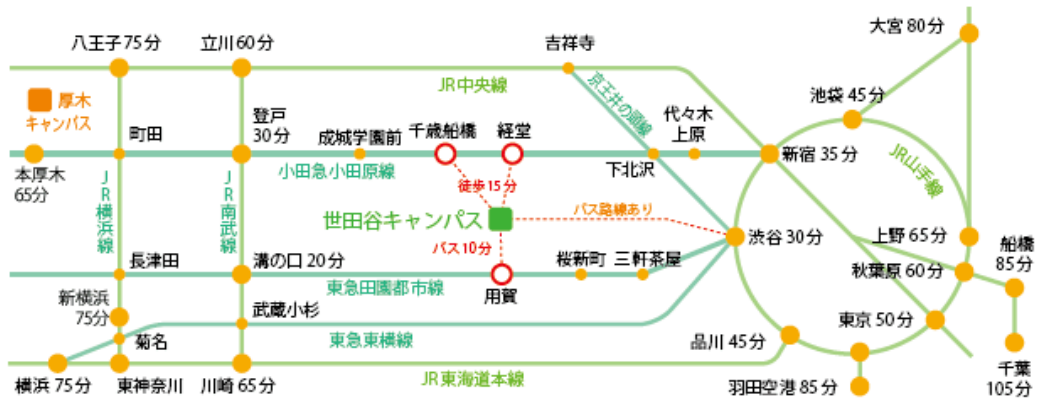
その後、コメントへの報告者の回答ならびに出席者から提出された質問事項への回答を踏まえ全体討論を行い、主題とする農業労災学の体系化・実証的解明の課題と農作業事故予防のノウハウ・労災補償対策の革新方向の明確化をねらいとしている。

9 プログラム

- | | |
|---|--------------------|
| 1) 受付開始 | 10:00～ |
| 2) 開会の挨拶：学会副会長・入来院重宏
(全国農業経営支援社会保険労務士ネットワーク会) | 10:30～10:40 |
| 3) 座長解題：学会副会長・白石正彦（東京農業大学総研農協研究部会） | 10:40～10:50 |
| 4) 基調報告： | |
| 第1報告 「農作業安全対策と平成24年農作業死亡事故調査結果について」
松岡謙二（農林水産省生産局生産資材対策室） | 10:50～11:20 |
| 第2報告「日本農業労災学会がめざす事故予防のノウハウと労災補償対策」
学会会長・三廻部眞己（東京農業大学総研労災対策研究部会） | 11:20～12:00 |
| <休憩・昼食> | <u>12:00～13:00</u> |
| *2014年度会員総会： | <u>13:00～13:25</u> |
| 第3報告「農業労災学における農業経営研究の課題—農業経営における農作業事故予防対策との関連で—」学会理事・門間敏幸（東京農業大学国際食料情報学部、総研就農者推進教育研究部会） | 13:30～14:00 |
| 第4報告「系統農協の農作業事故予防・労災補償活動の現状と課題」
白井 稔（全国農協中央会営農・農地総合対策部営農企画課） | 14:00～14:30 |
| 第5報告「秦野市農業協同組合の農業労災予防・労災補償対策の問題点と革新方向」
学会理事・宮永 均（神奈川県秦野市農業協同組合） | 14:30～14:50 |
| <休憩> | <u>14:50～15:00</u> |
| 5) コメント（30分）とコメントへの回答（25分） | 15:00～15:55 |
| コメンテーター： | |
| (1) 学会常任理事・松岡公明（農林漁業団体職員共済組合） | |
| (2) 学会理事・宮田正信（東京農業大学農学部、総研就農者推進教育研究部会） | |
| (3) 学会理事・瀬川徳子（社会保険労務士法人たんぽぽ会） | |
| 6) 全体討論 | 15:55～16:50 |
| 7) 座長総括 | 16:50～16:55 |
| 8) 閉会の挨拶 学会副会長・浅野公司（浅野社会保険労務士事務所） | 16:55～17:00 |
| 10 交流会（日本農業労災学会と東京農業大学総研3研究部会）： | 17:20～19:20 |
| 会場： <u>百周年記念講堂隣接の17・18号館1階「レストラン・すずしろ」</u> | |

* 2014年度第2回理事会：12:10～12:50 1号館1階112教室

11 会場：東京農業大学世田谷キャンパスまでの交通経路



小田急線

- ◆ 経堂駅下車 徒歩 約 15分
- ◆ 千歳船橋駅下車 徒歩 約 15分
バス 約 5分 <千歳船橋駅～農大前>
東急バス 渋谷駅行… (渋 23) 等々力操車所行… (等 11) 用賀駅行… (用 01)

JR 山の手線

- ◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口) バス 約 30分 <渋谷駅～農大前>
小田急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 調布駅南口行………… (渋 26)
東急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (渋 23)

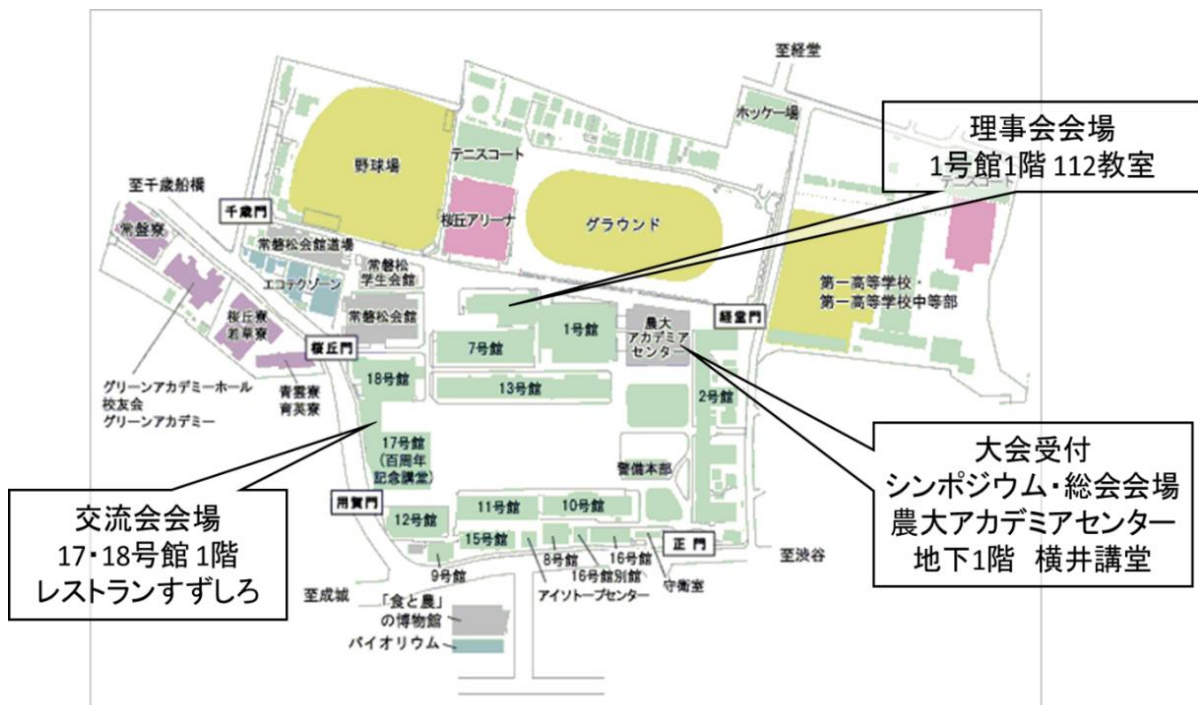
東急田園都市線

- ◆ 用賀駅下車 徒歩 約 20分・バス 約 10分 <用賀～農大前>
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (用 01)

東急東横線

- ◆ 田園調布駅下車 バス 約 30分 <田園調布駅～農大前>
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02)

12 東京農業大学世田谷キャンパス 大会会場案内図



ホームページを開設しました

7月5日に日本農業労災学会のホームページを開設しました。内容は、①学会概要、②活動内容、③大会・研究大会、④規約、⑤学会誌、⑥ニュースレター、⑦入会案内 となっています。随時、最新情報をアップしていきますのでよろしくお願いいたします。

(ホームページアドレス：<http://jfapr.jp>)



入会状況

7月30日現在の入会状況をご報告いたします。

- 1号正会員・・・85名
- 2号学生会員・・・0名
- 3号賛助会員・・・3名
- 合計・・・・・・・・88名

新規に本学会に加入を希望される皆様（1）
及び

本学会に関心がありシンポ等のみに参加を希望される皆様（2）

「シンポジウム・交流会等への参加申込書」

送付日：2014年 月 日

日本農業労災学会事務局御中

(FAX ⇒ 03-5651-0408 / E-mail ⇒ irikiin@kirin-office.com)

どちらかに○印をご記入ください。



1. 新規に会員加入を希望
2. シンポ等のみに参加を希望

(該当欄に○印を記入して9月18日(木)必着でお送りください)

<input type="checkbox"/>	シンポジウム及び交流会の両方に参加
<input type="checkbox"/>	シンポジウムのみ参加
<input type="checkbox"/>	交流会のみ参加
<input type="checkbox"/>	不参加のためシンポジウム資料送付を希望
(会員) 氏名：	(カタカナ：)
連絡先住所：〒	
連絡先電話：	
連絡先 fax：	
連絡先 E-mail：	

*会員入会を希望される方は、本学会（ホームページアドレス：<http://jfapr.jp>）から入会申込書にアクセス頂き、入会申込書にご記載の上で本学会事務局宛に FAX 等でお送りください。別途、学会費・参加費等の支払用の郵便振替票をお送りします。

*シンポ・交流会のみに参加を希望される実践現場等の方は、この参加申込書で事前にお申し込みください。参加費・交流会費の支払いは、当日で結構です。不参加のためシンポジウム資料送付を希望される場合は、支払用の郵便振替票をお送りしますので、資料代を受領後の10月上旬（シンポ終了後）に郵送します。